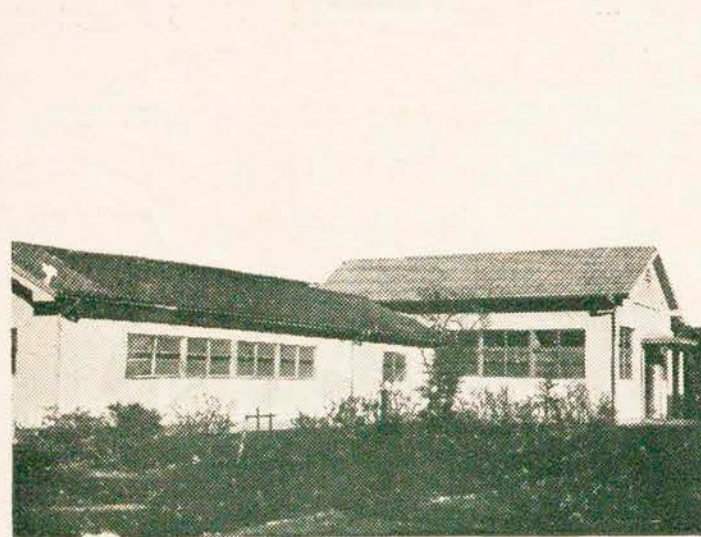


須賀學園生徒會

つめまつ

昭和
27年
3月
1日
発行





学 園 写 真 説 明 上…全関東大会優勝の本校ソフト・ボール部選手

①

ポ ー ト レ ー ト

左…昭和26年11月3日落成の講和記念図書館
右…尾道球場のソフト部

ひ め ま つ

第 6 号

一 目 次

巻 頭 言 須賀友正
山に見える都会にて 手塚 武

国体参加特集

国体出場まで 土岐 栄
バック・ネットから 菱沼ウタ
記録係の手帖 関 利江

私達の風土記

バザー記録

鬼怒川冬日(詩) 手塚 武
近頃思うこと感ずること

日葵向日記

私たちの詩集 私たちの作文集
私たちの句集 私たちの歌集
作 品

岡 知恵子・安達千恵・杉本啓子
クラブ活動告知板 職員住所録
編集後記 表紙 島田訥郎
グラビヤ……学園ポートレート



カ ッ ト 岡 知 恵 子

卷 頭 言

須 賀 友 正

学 校 長



五十周年の式典を終つて、今年は本校創立以來一世紀への後半をふみ出す意義ある第一年であつた。五十周年の式場で誓つたわれわれの決意は、その建設の一步をどんな風に踏み出したであらうか。

この年も「和」を基とする本校の和やかな校風は、いろいろなプラスを、もたらしてくれた。校舎も着々整備され、立派な図書館もでき上つた。必要な備品もだんだん充実し、ほんとうに有難いことだと思ふ。

春の旅、秋の運動会、バザーもつつがなく、スポーツ方面ではソフトボール部が、宿望の本県優勝をとげ、関東大会に出場し、ここでもついに優勝の栄冠をかちとり、国民体育大会女子高校関東代表として全国大会に出場するという、本

校開校以來の名譽を獲得した。全国大会では堂々決勝戦まで進み、惜しくも破れはしたが、顧みて悔しい一戦であつた。校長として永久に忘れることのできない感激の数々。よくぞ、やつてくれた！ と今思い出しても眼頭の熱くなるのを覚える。來年こそは、更に新しい力を蓄えて必勝を期したいものだ。また壮挙に当り寄せられたP・T・Aを始め、卒業生ならびに関係各方面の温い御後援に對しては何んとお礼を申し上げてよいことか、只々感謝のほかはない。

講和第一年、いろいろな感慨のうちにまた愛しい卒業生を送り出す。みんな達者で、母校と共に豊かなよわいを重ねて行きたいと希ふ。

て号泣した。昭和二十二年彼の一周忌であつたらうか。非常に暑り、二十五年間も教員などをして殆んど家を出ていた夫と、家を



學 園 写 真 説 明 上…国体第二位の栄冠に輝くソフト部(尾道にて)

② ポ ー ト レ ー ト

左…県下大会に優勝するソフト部(総合グラウンドにて)
右…瀬戸内海を背にしたソフト部(尾道にて)



